

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【公開番号】特開2012-223469(P2012-223469A)

【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2011-95616(P2011-95616)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/48 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 1 2

G 0 1 N 24/08 5 2 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月18日(2014.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも3つ以上のエコー信号を取得する高速スピンドルエコー法におけるRFパルスを、プリスキャンを用いて補正して画像を生成する磁気共鳴イメージング装置において、

前記プリスキャンにおいて得られたエコー信号に基づいて、前記RFパルスの照射位相の誤差を計算する計算手段と、該計算手段で得られた計算結果に基づいて、前記RFパルスの照射位相の誤差を補正する補正手段と、前記エコー信号を少しずつ増やしながら、前記計算手段による計算と前記補正手段による補正を繰り返す繰り返し手段を備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

前記補正手段は、数が増やされたエコー信号と、その一つ前のエコー信号との間に印加される反転RFパルスの照射位相を変えることにより、前記誤差を補正することを特徴とする請求項1に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

少なくとも3つ以上のエコー信号を取得する高速スピンドルエコー法における傾斜磁場パルスを、プリスキャンを用いて補正して画像を生成する磁気共鳴イメージング装置において

前記プリスキャンにおいて得られたエコー信号に基づいて、前記傾斜磁場パルスの誤差を計算する計算手段と、該計算手段で得られた計算結果に基づいて、前記傾斜磁場パルスの誤差を補正する補正手段と、前記エコー信号を少しずつ増やしながら、前記計算手段による計算と前記補正手段による補正を繰り返す繰り返し手段を備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置

【請求項4】

前記補正手段は、数が増やされたエコー信号と、その一つ前のエコー信号との間に印加される傾斜磁場パルスの印加量を変更することにより、前記誤差を補正することを特徴とする請求項3に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項5】

前記繰り返し手段は、エコー信号の数を1つずつ増やしながら繰り返すことの特徴とす

る請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 6】

前記繰り返し手段は、エコー信号の数を 2 つずつ増やしながら繰り返すことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 7】

前記エコー信号の数を、最大でいくつとするかを設定する設定手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 8】

前記補正手段は、クラッシャー傾斜磁場パルスの印加量を変更することにより、前記誤差を補正することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。